Eternal Love & Care for All

新時代の医療を拓く

—21世紀型医療を追求するニューフロンティアたらん—

埼玉医科大学国際医療センター

Saitama Medical University International Medical Center

限りなき愛

Eternal Love & Care for All

私たち医療人はヒポクラテスを尊敬し師と仰ぎつつ医の道を歩み、
また看護に携わる者はナイチンゲールを尊敬してその精神を実践します。

看護の母 ナイチンゲール、医学の父 ヒポクラテス（エントランスホール）

我々は人類に奉仕するために医療を行う

創立者　丸木清美

乙女像「愛、希望、祈り」（前庭）

基本理念

患者中心主義のもと、
安心で安全な満足度の高い医療の提供を行い、
かつ最も高度の医療水準を維持するよう努めます。

使　　命

埼玉県全域を範囲として、
がん、心臓病に対応する高度専門特殊医療に特化し、
かつ高度の救命救急医療を提供します。

基本方針

理念に従って
「患者中心主義（Patient-Centered）」を貫き、
あらゆる面で“患者さんにとって便利”であることを主眼とし、
患者さんひとりひとりにとって最も適切な医療を提供します。

ミッション

Your Happiness is Our Happiness
あなたの幸せが私達の幸せです。

ごあいさつ

埼玉医科大学国際医療センターは、従来の病院、特に大学病院の概念や枠組みに全くとらわれずに、「患者中心の医療」を具現化することをめざしています。

病院の玄関に足をいれたその瞬間から、今までの病院とは違うという印象を抱かれると思います。病院で働くすべてのスタッフが真心で、「患者中心の医療」を心がけ、安心で安全な満足度の高い、質の高い医療をめざしています。そのために、従来の縦割りの診療科毎の診療ではなく、横の繋がりを重視し、一人ひとりの患者さんに病院全員で治療にあたるという基本を貫いています。そして一人ひとりの患者さんが、その地域の中で継続医療が受けられるように、積極的に地域医療連携ネットワークを築いています。国際医療センターの使命の根幹にあるのは、何よりも「21世紀型医療を追究し、全ての患者さんに満足度の高い医療を提供する」ということです。

私たちは、この使命の実現のため、これからも国際医療センターの機能・設備そして人材の充実を図り、新時代の医療を拓く病院をめざしていきます。

病院長 佐伯 俊昭

Center of Excellence

卓越した医療センターをめざして

国際医療センターは地上6階建、延床面積約77,000㎡。
最高水準を行く第一級の医療センター「Center of Excellence」という考え方を基に、
包括的がんセンター456床、心臓病センター150床、救命救急センター150床の
3つの専門医療センターで構成され、
がん・心臓病に対する高度専門医療と救命救急医療（脳卒中含む）を提供します。
安心で安全で満足度の高い医療を提供し高度の医療水準を維持します。

包括的がんセンター診療科目

脳脊髄腫瘍科
小児腫瘍科
小児外科
造血器腫瘍科
婦人科腫瘍科
泌尿器腫瘍科
乳腺腫瘍科
皮膚腫瘍科
骨軟部組織腫瘍科
頭頸部腫瘍科
形成外科
精神腫瘍科
放射線腫瘍科
病理診断科
口腔ケア

がんゲノム医療センター

がんゲノム情報管理センター
がんゲノム診療科
家族性腫瘍科

サルコーマセンター

消化器病センター

消化器内科
　腫瘍内科・消化器腫瘍科
　消化器内視鏡科
消化器外科
　上部消化管外科
　下部消化管外科
　肝胆膵外科

呼吸器病センター

呼吸器内科
呼吸器外科

内視鏡検査治療センター

通院治療センター

がん相談支援センター

支持医療／緩和ケアセンター

緩和ケアチーム
支持医療科

化学放射線治療棟

化学放射線治療棟の2階では、科学的に裏づけのある抗がん剤などの化学療法による治療を、医師、薬剤師と看護師による多職種チームにより通院で安全に行っています。

急性心血管センター

心血管系の急性疾患である急性心筋梗塞、急性心不全、重篤な不整脈、急性大動脈解離などの疾患に24時間対応し、迅速な診断から適切な治療ができる体制を整えています。心臓内科と心臓外科が緊密に協力して治療に当たります。

脳卒中センター

脳梗塞急性期のt-PA静注療法に加え、急性期の血管内治療にも重点をおいています。破裂脳動脈瘤によるくも膜下出血に対する治療も脳卒中外科、脳血管内治療科が協力し、外科的治療、血管内治療を症例に応じて施行できる体制を整えています。

包括的がんセンター

がん患者さんと家族の皆さまは、社会生活、家族生活においてさまざまな困難を抱えながら目の前のがんと闘わなければなりません。そのため、がんを治療するだけではなく、がんになっても人が人として幸せな生活を送れるよう支援していくことも、がん医療の大切な役割です。

包括的がんセンターでは、一人ひとりの患者さんに最適の治療を見つけ出すために、腫瘍外科医、腫瘍内科医のみならず、さまざまな専門職種の医療スタッフがチーム医療を積極的に行っています。

従来の診療科毎の診療ではなく、横の繋がりを重視し、一人ひとりの患者さんに病院全員で治療にあたるという基本を貫いています。

救命救急センター

救命救急センターは、「断らない救急」をモットーに、埼玉県西部地区の中核病院として国際的にも通用する国内最高水準の救急医療を24時間提供しています。

救命・外傷センターをはじめ、心筋梗塞、心不全などを対応する心臓専門チーム、脳卒中、神経救急に対応する脳卒中専門チームなどがあり、患者さんに安心して高度医療を受けていただけるよう、医療安全、患者さん・ご家族との良好なコミュニケーション、良好な入院環境の確保に努めています。

地域の救急医療に積極的に貢献するため、救命救急センタースタッフが一丸となって診療にあたります。

心臓病センター

心臓病センターでは、心臓内科、心臓血管外科、小児心臓科、小児心臓外科の専門医が、協力してあらゆる循環器疾患の診療にあたっています。心臓外科と小児心臓外科の年間手術症例数は全国で常に5指に入っています。

国際的レベルでの診療を行いながら、国内では数少ない施設でしか実施されていない高度な技術を要する診療での実績も積み重ねてきました。心臓移植の指定施設であり、心不全症例に対する人工心臓を用いた治療、心筋再生治療などの最先端の治療も行っています。

新生児から高齢者まで24時間体制であらゆる心臓病治療に対応できる心臓病センターとして最善の治療を提供します。

心臓病センター診療科目

心臓内科
心臓血管外科
小児心臓外科
小児心臓科
心臓リハビリテーション科

重症心不全・心臓移植センター

成人先天性心疾患センター

急性心血管センター

中央診療部門

麻酔科
集中治療科
画像診断科
核医学科
運動・呼吸器リハビリテーション科
病院診療科
感染症科・感染制御科
内分泌内科・糖尿病内科
地域医療科
中央放射線部
中央検査部
MEサービス部
リハビリテーションセンター/リハビリ訓練室
中央手術部・インターベンション部
輸血・細胞移植部
血液浄化部
病理診断部
褥瘡管理室

救命救急センター診療科目

Acute Care Surgery & Shock/Trauma Center

救命救急科
精神科救命救急科
地域医療科

脳卒中センター

脳卒中内科
脳卒中外科
脳血管内治療科

小児救急センター

小児救急科

急性心血管センター

心臓内科

ドクターヘリ

中央診療棟の屋上はドクターヘリの離発着が可能です。埼玉県全域から25分以内で救急搬送でき、救命救急センター及び災害拠点病院としての役割を果たしています。

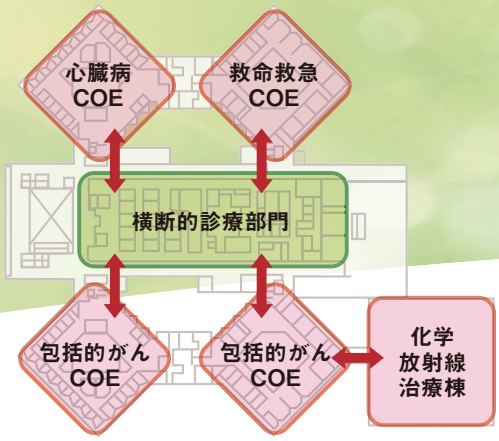
臓器移植センター

臓器移植部門（腎・肝・膵）

患者さん中心の部門配置

3つの専門医療センターは、それぞれ外来・検査・病棟機能を有する完結型の独立した建物とし、各センターの中央には、横断的診療部門を配置しています。

手術部門や高機能な診断治療室など、各センター横断で使用できる機能を中央に集約することで各センターの融合性を高めるとともに、患者さんの水平移動・垂直移動とも大幅な効率化を実現しました。



災害時の機能確保

埼玉県災害拠点病院としての機能も、国際医療センターの大きな役割の一つです。

免震構造を構造物全体に採用し、地震の際の医療機器の移動・転倒の危険を大幅に軽減して診療機能を維持します。

また、エントランス部等に中央配管を設置し、大規模災害の際に、ホールを診療に使用できるようになっています。

中央配管

防災倉庫

有機的連携による医療の実践

埼玉医科大学の4つのキャンパスのうちの1つ、日高キャンパスには、187,000㎡の敷地に、国際医療センター、4年制の保健医療学部、創立30周年記念講堂などが建ち並んでいます。

各施設の有機的連携による教育・研究・診療を行っています。

オール埼玉医科大学の診療体制

埼玉医科大学の3病院は機能分担をし、診療協力を行い相互補完的な診療体制を取っています。当院は、がん、心臓病、脳卒中及び救急医療に特化した急性期の診療を行います。

埼玉医科大学病院と国際医療センターは、2つで1つのメディカルセンターを構成しています。

Patient Centered

徹底した患者中心主義の実践

病気を治すのは医療者と患者の共同作業

医療の場でのヒューマンリレーションは信頼関係で結ばれてこそ効果を発揮します。
親切に診療に時間をかけて丁寧にしかも迅速に患者さんを診ることを実践しています。

広いエントランスホールは患者さんの心を安らげる癒しの空間を提供します。
「病院らしくない病院」
病院らしさを一掃し、患者さんの利便性、
満足度を追及する病院です。

患者さんのアメニティを志向した施設

ヘアサロン

コンビニエンスストア

患者呼び出しシステム

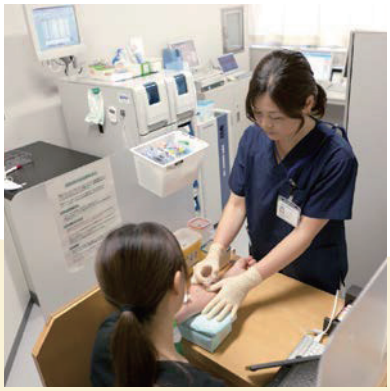
コーヒーショップ

カフェテラス

院内学級

患者さんの動線を短く

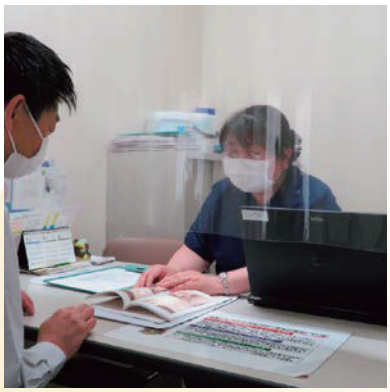
患者さんの動線が短くなるよう包括的がんセンター、心臓病・脳卒中センター、通院治療センター外来で採血・エコー・心電図等の必要な頻度の高い検査をそれぞれ分散して配置しています。



採血室

シームレスに医療を提供

患者支援センターでは、外来から入院・退院後の医療をシームレスに提供することを目的に支援を行っています。



患者支援センター

チーム医療の実践

私たちは診療科の枠を超え専門知識と技術を集約したチーム医療を実践します。

感染防止対策チーム
抗菌薬適正使用支援チーム
栄養サポートチーム
呼吸ケアチーム
褥瘡対策チーム
口腔ケアチーム
糖尿病専門チーム
認知症ケアチーム
精神科リエゾンチーム
ラピッドレスポンスチーム
緩和ケアチーム
術後疼痛管理チーム
がん生殖相談/AYA支援チーム

呼吸ケアチーム

キャンサーボード

ラウンジヤマネ

レストラン

ウェルショップ

予約制の導入

患者さんへのサービス向上を推進するため、
電話による初診・再診の診察予約制をとっています。
緊急患者は24時間受け入れます。

Personalized Medicine

オーダーメイドの医療の実践

国際医療センターの全ての治療に共通している点、それは患者さん一人一人の症状に合わせた「オー
そのために、一つの症例に対して医師・看護師とコーメディカルスタッフによる医療チームを組織し、診療
ここでは、安心で安全で満足度の高い医療を実現するために、私たちが行っている数々の取り組みをご

統合型手術室

当センターで新しく開発した脳血管撮影装置、脳CT、手術・脳血管治療が同時に行える脳血管障害専用手術（Brain OR）を設置しました。脳血管内治療、開頭手術単独では難しかった治療が両者を同時に行えるこの手術室では、患者さんをなるべく移動させずに周囲の医療機器を目的に合わせて動かせるようにデザインされており、まさに国際レベルの治療を目指した世界初の画期的治療環境です。

院内情報システム

診療記録や処方・検査などの情報を管理する電子カルテシステムは、院内ネットワークを介して外来、病棟および各部門に配置された端末で参照・記録することが出来ます。

これらのカルテ情報は、大学病院、総合医療センターおよび国際医療センターの3病院で集中管理され、診察情報を共有し、密接な連携診療を提供します。

また、リアルタイムモニターにより、現在行われている手術の進行状況を病棟で確認し、効率よく術後管理の態勢を整えるなど、院内随所に医療情報システムを構築しています。

リアルタイムモニター

薬剤部

チーム医療を実践するため各病棟にサテライトファーマシーを設け専任の薬剤師を配置し、薬が適正かつ安全に使用されるようにチェックしています。

また、多くの最新機器を導入し、人と機械によるダブルチェックを行うことにより安全を担保しています。

服薬指導

サテライトファーマシー

臨床研究適正推進センター

試験治療を適正に行うために、当院では臨床研究適正推進センターを設置しています。センターでは治験審査委員会や倫理審査委員会を開催し、治療内容が科学的に、倫理的に適正かを審査します。治療時には診療部門と連携し安全に行われるように支援し、得られた治療結果を取りまとめて次の標準治療の開発に寄与しています。

ダーメイドの医療」を行うこと。
に当たっています。
紹介しましょう。

患者支援センター　医療福祉相談室

当院の心臓病センター、救命救急センター（脳卒中センター含む）の患者さんやご家族の相談をお受けしています。例えば、医療費や生活費、今後の生活、リハビリテーションや療養目的の転院先のこと、身体障害者手帳や介護保険等の福祉制度について相談したい時にご利用ください。

がん相談支援センター

がん患者さんやご家族が、がんについて知り納得して治療を受けるための支えとなるような情報の提供や相談支援を行っています。また、医療費や生活費、仕事や教育、在宅療養や転院、家族の生活等のがんの闘病における相談をお受けしています。がん患者さんやご家族、地域の方々等どなたでもご利用いただけます。

地域医療連携室

地域医療連携は地域医療連携室が中心となって、地域の医療機関からの患者さんの紹介による予約受付を行っています。年に4回院内で地域連携懇話会を開催し、毎回テーマを変えて地域の先生方、病院関係者と情報交換を行っています。最近の医療の進歩、連携の問題点などが議題となります。

ラーニングセンター（患者図書室）

ラーニングセンターは、当院の基本理念の患者中心主義を具体的に実践する特徴あるファシリティーの1つで、次の4項目を支援します。

①患者・家族等が病気や治療法の知識を自ら得る場を提供することにより、治療に取り組む意欲、回復への志向を持ち、また不安等を解消し、患者自身の健康な生活の再建を支援します。
②治療についての認識を深めることにより医療者と共に治療方法の選択のための意思決定を行うことを支援します。
③診療内容等を理解し患者・家族等が医療者とのよりよい信頼関係を構築し、納得した治療を受けることができるよう支援します。
④患者・家族が予後等を理解しQOLの向上した療養生活が送れるよう支援します。

Global Standard

世界と対話し、世界をリードする

「国際医療センター」の名称には、世界水準・グローバルスタンダードから見ても
極めて高いレベルの医療を実践する、という精神が込められています。
同時に、文字通り医学・医療において広く海外と交流を持ち、
教育・研究・診療の各部門での連携を前提とした運営方針を示すものでもあります。

国際交流

国際医療センターは、診療・教育・研究において広く世界的な規模で双方向性の交流を目指しています。外国からの医師・ナース・技術員のトレーニングなどを積極的に実施しています。外国人留学生には埼玉医科大学・外国人フェローシップを利用する機会もあります。外国医師臨床修練制度（厚労省）や本学規制による専攻生、協力教育員、特別研究学生、リサーチフェロー（リサーチアシスタント、ポストドクター）、ティーチング・アシスタント、研究支援者などの身分の利用を外国人へも拡大するなど、制度の充実に向かってさまざまな取り組みをしています。

※写真は外国医師臨床修練中の風景

臨床研究

埼玉医科大学ゲノム医学研究センターとの共同プロジェクトや製薬企業等が主導的に行う臨床治験を実施する一方、医師主導の探索型医療（トランスレーショナル・リサーチ）を積極的に推進しています。優れた研究プロジェクトを計画することによって産学協同研究を推進しています。また、他大学や研究医療機関等の研究員を受け入れています。

若手研究者の育成のために埼玉医科大学国際医療センター研究プロジェクト（日高研究プロジェクト）を立ち上げ研究支援を行っています。

埼玉医科大学国際医療センター研究プロジェクト
埼玉医科大学学内グラント
丸木記念特別奨学研究費
落合記念賞研究費
海外留学奨励助成金（同窓会）

Nursing

看護の心と手で、患者さんを支える

看護部理念

私たちは一人ひとりを尊重し、良質で満足度の高い看護を目指します。

看護方針

1. 質の高い看護サービスを実践します。
2. 他のコメディカルと協働した患者さん中心のチーム医療を推進します。
3. 専門職として看護実践能力の向上に努めます。
4. 信頼される人間性豊かな人材を育成します。

専門看護師・認定看護師

- がん看護専門看護師
- 急性･重症患者看護専門看護師
- 精神看護専門看護師
- 乳がん看護認定看護師
- 緩和ケア認定看護師
- 皮膚･排泄ケア認定看護師
- がん化学療法看護認定看護師
- がん性疼痛看護認定看護師
- 救急看護認定看護師
- 小児救急看護認定看護師
- 感染管理認定看護師
- 集中ケア認定看護師
- 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
- 摂食･嚥下障害看護認定看護師
- がん放射線療法認定看護師
- 日本臨床薬理学会認定CRC

Profile

認定証一覧

認定内容	交付年月日	発行機関
特定非営利活動法人日本臨床腫瘍学会認定研修施設	2005.4.1	特定非営利活動法人日本臨床腫瘍学会
日本脳卒中学会専門医認定制度による研修教育病院	2007.1.1	一般社団法人日本脳卒中学会
日本がん治療認定医機構認定研修施設	2007.11.1	一般社団法人日本がん治療認定医機構
日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設（咽喉系）	2007.11.2	特定非営利活動法人日本気管食道科学会
日本消化器内視鏡学会指導施設	2007.12.1	一般社団法人日本消化器内視鏡学会
日本外科学会外科専門医制度修練施設	2007.12.1	一般社団法人日本外科学会
日本消化器病学会専門医認定施設	2007.12.15	一般財団法人日本消化器病学会
日本神経学会専門医制度における教育施設	2007.4.1	一般社団法人日本神経学会
循環器専門医研修施設	2007.4.1	一般社団法人日本循環器学会
一般社団法人日本血液学会認定血液研修施設	2007.5.1	一般社団法人日本血液学会
社団法人日本臓器移植ネットワーク正会員	2007.6.22	社団法人日本臓器移植ネットワーク
日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設	2007.6.28	特定非営利活動法人日本婦人科腫瘍学会
医療法に基づく麻酔科標榜のための研修施設である麻酔科認定病院	2007.7.1	公益社団法人日本麻酔科学会
社団法人日本リハビリテーション医学会研修施設	2007.7.21	公益社団法人日本リハビリテーション医学会
日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設	2007.8.1	一般社団法人日本医療薬学会
日本脳神経外科学会専門医訓練場所認定	2007.8.8	一般社団法人日本脳神経外科学会・専門医認定委員会
日本乳癌学会認定施設	2008.1.1	一般社団法人日本乳癌学会
社団法人日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	2008.1.18	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会
日本心臓リハビリテーション学会認定施設	2008.11.1	特定非営利活動法人日本心臓リハビリテーション学会
日本食道学会全国登録認定施設	2008.2.1	特定非営利活動法人日本食道学会
三学会構成心臓血管外科専門医認定規則に規定する基幹施設	2008.4.1	三学会構成心臓血管外科専門医認定機構
公益社団法人日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設	2008.4.1	公益社団法人日本超音波医学会
マンモグラフィ検診施設画像認定施設	2008.4.1	特定非営利活動法人日本乳がん検診精度管理中央機構
小児循環器専門医修練施設	2008.4.1	特定非営利活動法人日本小児循環器学会
特定非営利活動法人日本脳神経血管内治療学会研修施設	2008.4.1	特定非営利活動法人日本脳神経血管内治療学会 日本脳神経血管内治療学会専門医指導医認定委員会
肝胆膵外科高度技能専門医修練施設A	2008.6.1	一般社団法人日本肝胆膵外科学会
泌尿器科専門医教育施設	2008.7.10	一般社団法人日本泌尿器科学会
胸部ステントグラフト実施施設	2008.8.29	関連10学会構成日本ステントグラフト実施基準管理委員会
日本核医学会専門医教育病院	2009.1.1	一般社団法人日本核医学会
日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設	2009.1.28	一般社団法人日本静脈経腸栄養学会
日本呼吸器学会認定施設	2009.11.24	一般社団法人日本呼吸器学会
日本消化器外科学会専門医修練施設	2009.12.8	一般社団法人日本消化器外科学会
呼吸器外科専門研修基幹施設	2009.4.1	呼吸器外科専門医合同委員会
特定非営利活動法人日本緩和医療学会認定研修施設	2009.4.1	特定非営利活動法人日本緩和医療学会
非血縁者間骨髄採取認定施設 非血縁者間骨髄移植認定施設（造血器腫瘍科）	2009.4.1	公益財団法人日本骨髄バンク 一般社団法人日本造血細胞移植学会
非血縁者間骨髄採取認定施設 非血縁者間骨髄移植認定施設（小児腫瘍科）	2009.4.1	公益財団法人日本骨髄バンク 一般社団法人日本造血細胞移植学会
日本肝臓学会認定施設	2009.4.1	一般社団法人日本肝臓学会
日本救急医学会指導医指定施設	2010.1.1	一般社団法人日本救急医学会
日本頭頸部外科学会研修施設	2010.1.1	特定非営利活動法人日本頭頸部外科学会
日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設	2010.1.1	一般社団法人日本医療薬学会
日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設	2010.1.15	一般社団法人日本輸血・細胞治療学会
日本大腸肛門病学会認定施設	2010.10.2	一般社団法人日本大腸肛門病学会
日本外傷学会外傷専門医研修施設	2010.11.1	一般社団法人日本外傷学会
日本IVR学会専門医修練施設	2010.3.1	一般社団法人日本インターベンショナルラジオロジー学会
日本病理学会研修認定施設B	2010.4.1	一般社団法人日本病理学会
放射線科専門医総合修練機関	2010.4.1	公益社団法人日本医学放射線学会（JRS）
日本呼吸療法医学会呼吸療法専門医研修施設	2010.7.23	一般社団法人日本呼吸療法医学会
日本放射線腫瘍学会認定施設	2010.8.31	公益社団法人日本放射線腫瘍学会
日本ハイパーサーミア学会認定施設	2010.9.10	一般社団法人日本ハイパーサーミア学会
日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設（外科気道系）	2011.11.10	特定非営利活動法人日本気管食道科学会
日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設（外科食道系）	2011.11.10	特定非営利活動法人日本気管食道科学会

JCI認定病院

認定内容	交付年月日	発行機関
一般社団法人日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設	2011.11.30	一般社団法人日本外科感染症学会
日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士取得に関わる実地修練施設	2011.2.17	一般社団法人日本静脈経腸栄養学会
日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定規定認定教育施設	2011.2.17	一般社団法人日本静脈経腸栄養学会
心臓血管麻酔専門医認定施設	2011.4.1	一般社団法人日本心臓血管麻酔学会
小児血液・がん専門医研修施設	2011.4.1	特定非営利活動法人日本小児がん学会
日本産科婦人科学会専門医制度専攻指導施設	2012.10.1	公益社団法人日本産科婦人科学会
専門医制度専攻指導施設	2012.10.1	公益社団法人日本産科婦人科学会
被ばく線量低減推進施設	2012.11.8	全国循環器撮影研究会
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設	2012.4.1	一般社団法人日本不整脈心電学会
日本心血管インターベンション治療学会研修施設	2012.4.27	一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会
日本胆道学会認定指導医制度指導施設	2012.7.1	日本胆道学会
日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定（I&A制度）	2013.10.18	一般社団法人日本輸血・細胞治療学会
日本脈管学会認定研修指定施設	2013.10.9	一般社団法人日本脈管学会
日本消化管学会胃腸科指導施設	2013.11.1	一般社団法人日本消化管学会
精度保証認定施設	2013.4.1	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 特定非営利活動法人日本臨床検査標準協議会
公益社団法人日本臨床細胞学会施設認定制度コントロールサーベイ参加施設	2013.5.1	公益社団法人日本臨床細胞学会
経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設	2013.8.19	経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会
食道外科専門医認定施設	2014.1.1	特定非営利活動法人日本食道学会
日本栄養療法推進協議会NST稼働施設	2014.1.28	一般社団法人日本栄養療法推進協議会
日本臨床細胞学会教育研修施設	2014.4.1	公益社団法人日本臨床細胞学会
日本臨床細胞学会認定施設	2014.4.1	公益社団法人日本臨床細胞学会
JCOG参加施設	2015.4.1	Japan Clinical Oncology Group
日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師制度薬物療法専門薬剤師研修施設	2015.6.1	一般社団法人日本医療薬学会
JALSG参加施設	2016.1.1	特定非営利活動法人成人白血病治療共同研究機構
日本認知症学会教育施設	2016.10.20	一般社団法人日本認知症学会
植込型補助人工心臓実施施設	2016.3.1	補助人工心臓治療関連学会協議会 植込型補助人工心臓実施施設基準管理委員会
日本集中治療医学会専門医研修施設	2016.4.1	一般社団法人日本集中治療医学会
日本精神神経学会精神科専門医制度における研修施設	2016.4.1	公益社団法人日本精神神経学会
浅大腿動脈ステントグラフト実施施設	2017.3.1	浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会
日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設	2017.4.1	一般社団法人日本産科婦人科内視鏡学会
学会認定・臨床輸血看護師制度指定研修施設	2017.4.1	一般社団法人日本輸血・細胞治療学会
腹部ステントグラフト実施施設	2018.1.5	関連10学会構成日本ステントグラフト実施基準管理委員会
経皮的僧帽弁接合不全修復システム実施施設	2018.10.1	一般社団法人日本循環器学会
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会日本呼吸療法医学会認定 呼吸ケアサポートチーム（RST）施設	2018.10.29	一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 一般社団法人日本呼吸療法医学会
日本膵臓学会認定指導施設	2018.11.26	一般社団法人日本膵臓学会
IMPELLA補助循環用ポンプカテーテル実施施設	2018.6.5	補助人工心臓治療関連学会協議会
日本臨床薬理学会専門医制度研修施設	2019.1.1	一般社団法人日本臨床薬理学会
公益財団法人日本適合性認定協会認定臨床検査室（ISO 15189）	2019.12.13	公益財団法人日本適合性認定協会
日本歯科麻酔学会認定研修機関	2019.2.19	一般社団法人日本歯科麻酔学会
成人先天性心疾患専門医総合修練施設	2019.4.1	一般社団法人日本成人先天性心疾患学会
一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構 遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹認定施設	2019.4.1	一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構
一般社団法人日本Pediatric Interventional Cardiology学会・ 一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会合同教育委員会認定 経皮的動脈管閉鎖術施行施設	2019.4.1	一般社団法人日本Pediatric Interventional Cardiology学会 一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会
一般社団法人日本Pediatric Interventional Cardiology学会・ 一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会合同教育委員会認定 経皮的心房中隔欠損閉鎖術施行施設	2019.4.1	一般社団法人日本Pediatric Interventional Cardiology学会 一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会
乳房増大エキスパンダー及びインプラント実施施設	2020.4.1	一般社団法人日本形成外科学会
一般社団法人日本血液学会認定専門研修認定施設	2020.5.1	一般社団法人日本血液学会

Profile

施設概要

名称	埼玉医科大学国際医療センター Saitama Medical University International Medical Center	
所在地	埼玉県日高市山根1397-1	
開院日	平成19年4月1日	
医療機関の指定		承認
	開設許可	H19.03.30
	病院使用許可	H19.03.15
	保険医療機関	H19.04.01
	自立支援医療機関（育成・更生・精神通院医療）	H19.04.01
	結核指定医療機関	H19.04.01
	生活保護指定医療機関	H19.04.01
	労災保険指定医療機関	H19.04.01
	特定疾患医療の指定	H19.04.01
	小児慢性特定疾患医療の指定	H19.04.01
	日本臓器移植ネットワーク指定　臓器移植センター	H19.06.22
	日本臓器移植ネットワーク指定　腎臓器移植実施施設	H19.06.22
	救急病院の指定	H19.09.02
	骨髄移植推進財団認定　非血縁者間骨髄移植・採取施設	H19.12.10
	地域がん診療連携拠点病院（高度型）	H20.02.08
	外国医師臨床修練指定病院	H20.03.25
	救命救急センター	H20.06.12
	埼玉県災害拠点病院	H21.01.14
	全面禁煙実施施設	H21.05.12
	DPC対象病院	H21.07.01
	心臓移植実施施設	H22.08.01
	日本医療機能評価機構の定める認定病院	H22.10.01
	災害派遣医療チーム埼玉DMAT指定病院	H22.12.06
	埼玉県特別機動援助隊（埼玉SMART）	H22.12.06
	JCI（米国における病院機能評価の国際版）認定病院	H27.02.07
	JMIP（外国人患者受入れ医療機関認証制度）認定病院	H29.05.22
	JIH（ジャパン インターナショナル ホスピタルズ）認定病院	H30.07.23
	がんゲノム医療拠点病院	R01.09.19
	埼玉県地域医療支援病院	R01.10.01
	ISO15189認定病院（中央検査部、輸血・細胞移植部、病理診断部）	R01.12.13
	JCEP（卒後臨床研修評価機構）認定病院	R02.03.01
協定	早朝夜間における防災ヘリコプターによるドクターヘリコプター的運行に関する協定（埼玉県）	H21.07.28
	埼玉医科大学国際医療センタードクターカー運用に関する協定（埼玉西部消防組合）	H25.05.01
	埼玉医科大学国際医療センタードクターカー運用に関する協定 （坂戸・鶴ヶ島消防組合、比企広域消防組合、西入間広域消防組合）	H30.04.01
	埼玉医科大学国際医療センタードクターカー運用に関する協定（秩父広域消防組合）	R02.10.01
建築面積	19,590㎡	
延べ面積	77,018㎡	
建物構造	鉄筋コンクリート造　一部鉄骨鉄筋コンクリート造　免震構造	
階数	地上6階 塔屋1階（診療部門）	
病床数	756床	
日高キャンパス		
敷地面積	186,272㎡	
駐車場	486台（患者用）	

Access Map

■電車を利用される方

池袋駅→（東武東上線43分）→坂戸駅→（東武越生線13分）→東毛呂駅→（路線バス約15分）

池袋駅→（東武東上線30分）→川越駅→（JR川越線25分）→高麗川駅→（路線バス約10分）

大宮駅→（JR埼京線17分）→川越駅→（JR川越線25分）→高麗川駅→（路線バス約10分）

池袋駅→（西武池袋線47分）→飯能駅→（西武秩父線1分）→東飯能駅→（JR八高線6分）→高麗川駅→（路線バス約10分）

※タクシー　高麗川駅より 約10分
　　東毛呂駅より 約10分

※バス　高麗川駅より約10分　埼玉医大行き　国際医療センター下車
　　東毛呂駅より約15分　埼玉医大・保健医療学部行き　国際医療センター下車

■車を利用される方

関越自動車道鶴ヶ島インター、圏央道圏央鶴ヶ島インターより10km（約15分）、県道30号（飯能寄居線）沿い

圏央道狭山・日高インターより10Km（約20分）、県道30号（飯能寄居線）沿い

医療は誇り高い仕事である
高い誇りを持ち、“高い志を持つ”ことが大切である
日々の行動や医療行為が“誇り”に満ちていなければならない
国際医療センターは“医療人としての誇り”を表現する最大の場となる

名誉理事長　丸木清浩

埼玉医科大学国際医療センター

〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1　TEL：042-984-4111
URL：https://www.international.saitama-med.ac.jp/